

ットワークを作りながら自己研鑽に励んでいます。資格取得後は、北海道や九州では行政や公共機関で活躍されている方が多い印象があります。事務局としては、あっせんはしていませんが、寄せられる求人情報をご提供するなどのサポートを行っています。

●貴協会の養成講習はどのような点が特徴ですか？

知識学習、自宅学習はもちろん大切ですが、キャリアコンサルタントはやはり人と向かい合って支援する仕事なので、通学クラス形式により他の人との関係を大切に一緒に学びながら演習やグループワークを行うことを重視したカリキュラムになっています。講師は、それぞれの分野の専門家や実務家が担当しており、ジョブ・カードやキャリア教育の授業などでは、現場の第一線で活躍している卒業生に講師をしてもらっています。やはり「学んだことを現場でどうやって活かしていくのか」という視点で学べることは強みですね。演習の終わりの時期には、初めて会うクライアントへの30分の面談演習を数回行いますが、これも資格をとってすぐに実践できるように、という思いからより実際の現場に近い形を想定したもので、卒業生にクライアントとして協力してもらっています。

●学びが実践につながりやすいスタイルなんですね

私自身、長年企業で研修や面談を行っていますが、企業研修などでそこで働く社員と面談をするケースなどでは、本人には特に悩みもなく、仕事もうまくいっているけれど、「3年目研修だから受けてこいと言われて来ました」という人もいたりします。そういう人たちにも、自分のキャリアについて考えてもらい、課題を見つけるような貴重な機会にしてもらうためには、キャリアコンサルタントが的確に問いかけをしてクライアントから出てきたことを傾聴する、というやり取りが必要だと思います。問いかけから面談を進めていくことができないと結局はカウンセリングもコンサルティングも進んでいかないという場面があったりしますので、クライアント中心で面談を進めることはもちろんですが、より現場で使えるスタイルとして、問いかけて引き出したことを傾聴する、ということを演習では重視しています。

●最後に、キャリアコンサルタントの方、これから学ぶ方にメッセージをお願いします

当協会では、新しい形の「地域の大学」を目指して民学産公で運営されている「三鷹ネットワーク大学」と連携してボランティアによるキャリア・カウンセリングを2ヶ月に1回行っています。一般の方向けにキャリア・カウンセリングの考え方に関する講義と、個別カウンセリングとワークシートの作成を行うもので、もう10年ほど続いています。キャリア・カウンセリングの社会的貢献と普及促進を目的としていますが、いろいろな世界の

方と話しができるのでキャリアコンサルタントにとっても学びの多い機会となっています。キャリアコンサルタントにとって専門性の向上はもちろん重要ですが、自分の今までの経験や考え方、概念、価値観、それらを総動員する仕事でもあるので、多様性を感じることも忘れてはいけないことだなどつくづく思います。実践の現場でお互い経験を積んで腕を磨いていきましょう。

【 団体基本情報 】

特定非営利活動法人日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会
(東京都中央区新川1-16-4-2階)

団体・養成講習のHPはこちら→<http://www.cmcajapan.net/>